

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年10月18日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690102084
法 人 名	医療法人 徳洲会
事 業 所 名	医療法人徳洲会 グループホーム東谷山
所 在 地	鹿児島県鹿児島市東谷山二丁目49番10号 (電 話) 099-260-8200
自己評価作成日	令和3年9月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	N P O 法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年10月11日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・生活支援において、ADL自立されている方にはその日の体調に応じて朝の掃除や軽作業に取り組んで頂く事で残存機能能力を活かせる様支援している。
- ・レクリエーション時には毎月の壁画をスタッフと一緒に作成し、皆さんが参加でき楽しんでくださるようなレクを行っている。また食事前の嚥下体操をする事で誤嚥防止に努めている。
- ・入浴時にも入居者様一人一人に合わせ自尊心を傷つけ無い様に配慮し、ゆっくりと身体をリラックスして頂けるよう心がけている。
- ・医療面には24時間体制で、新杏クリニックと連携をとっており、急変時の対応も取っています。また、週に1度訪問看護も入居者様の状態確認に来てもらっています。
- ・町内会に加入しており、清掃活動などに積極的に参加し情報の共有、地域密着につとめている。
- ・コロナウイルス感染防止の為、外出を中止している中1つの楽しみである食事を入居者様から聞いたメニューを参考にし月に1度、外からの食事を提供しいつもと違った物を味わってもらっている。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、商業施設の多い市電停に近く交通の利便性が高い場所に建てられたビルの2~3階に開設している。
- ・医療機関より月2回の訪問診療と24時間医療連携体制が整っている。週1回の母体法人からの訪問看護による健康管理、歯科協力医の訪問診療等による協力体制が築かれており、医療・健康面における本人・家族の安心に繋がっている。
- ・重度化や終末期・看取りを行った事例があり、関係者や職員はチームで支援する体制ができている。
- ・コロナ禍で外部との交流は自粛しているが、公園の清掃活動への参加や看護学生の実習受け入れ、住民からの野菜の差し入れ等、地域との交流は工夫しながら継続している。
- ・管理者及び職員は、利用者の個々の力やペースに応じて残存機能の保持を図り、希望する入浴や排泄介助を支援し、利用者の自立と意思を尊重したケアに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	・地域密着型サービスの意義を職員全員で理解し地域生活の継続的支援と事業所の理念を大切にしている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を各ユニット及びエレベーターに掲示しパンフレットにも掲載している。毎朝申し送り時に唱和し理念の確認を行なうと共に、毎月の職員会議時はケアを振り返って理念の実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・町内会に加入し近隣公園の清掃活動などへの行事に参加している。地域の実習生の受け入れも行っている。	町内会に加入しており、地域の行事は自粛しているが、公園の清掃活動への参加や看護学生の実習受け入れをしており、住民からの野菜の差し入れ等、コロナ感染防止対策を行い地域との交流に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	・コロナウイルスの影響で職員のみで運営推進会議を行い入所中の認知症高齢者の議事録を民生委員、町内会長の方々へお便りを通して理解と協力を得ている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・前回の運営推進会議で取り上げられた検討事項があれば経過報告し利用者様のサービス向上に活かしている。	会議は2ヶ月毎に事業所職員のみで実施し、事業所内の状況及び取り組みを報告し、委員及び家族には議事録を手渡したり送付している。今後意見等も聞けるように工夫していく計画である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	・市の保護課、県社協などの支援サービスを通じて連携し様々な情報交換を行いながらサービスの向上に努めている。	役所の窓口に出向いて、介護保険・生活保護担当者に報告や相談等を行っており、日頃から連携し協力関係を築いている。研修会はズーム研修に参加し、情報収集に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	・年4回身体拘束委員会を開催し職員全体が身体拘束について理解しているが施錠に関しては行っている。	指針が有り、委員会を3ヶ月毎に、研修を年3~4回実施している。ビルの2・3階に開設している事業所の為、安全に配慮して入り口の施錠をしているが、利用者の希望や素振りから外出希望を察知した場合は、一緒に近隣の散歩や買い物等で気分転換を図っている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	・勉強会を行い職員一人一人が理解しケアに努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	・行政の支援サービス至るまで必要性がある場合には支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所時には契約書、重要事項を説明し、入所者様やご家族様の質問、疑問にお答えし不安にならないように理解、納得して頂いている。</li> </ul>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者様には日々、意見や要望を聞き、ご家族様には毎月お便りを出し近況報告を行い何か要望などがあればスタッフで話し合い運営に反映させている。</li> </ul>	<p>利用者の思い等は、日々の会話で把握するよう努めている。家族の要望等は、年1回のアンケート調査の実施や電話・来訪時・介護計画作成時に把握している。購入物品の対応やコロナ禍の面会希望等の取り組みを行い、可能な限り反映できるよう検討している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者は日々の業務の中で職員の意見要望を聞き、改善に努め、運営へ反映させている。</li> </ul>	<p>毎月職員会議で意見を聞く機会を設けている他、日常的に意見が出されることが多く、申し送りノートを活用して、意見の周知と試行に取り組んだ上で、会議で検討し改善等に繋げている。個別相談はフロア責任者・管理者が対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務に対し向上心が持てるよう勤務状況を把握し職場環境、条件の整備を行い働きやすい環境作りに努めている。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの力量を把握し内外の研修を受け、内容を勉強会で共有しスタッフの働きを育てている。</li> </ul>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナウイルスの為交流は難しいが、同グループなどネットワークを通じサービスの質の向上への取り組みをしている。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの利用を開始する前にアセスメントを取り、本人様がおかれている状況を理解し苦しんでいること、困っていることと要望などを把握し、安心して生活が送れるような関係作りに努めている。</li> </ul>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期の段階でご家族様と十分に話し合い、求められているものを理解し、困っていることや要望に傾聴し問題解決と信頼構築に務めている。</li> </ul>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスを開始する前にアセスメントを取り、本人様やご家族様の思いの状況等を確認し納得されたうえで他サービスを検討し開始する。</li> </ul>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人様が出来る事を見極め、一緒に洗濯物たたみや掃除などできる範囲で暮らしを共にし、お互いが協働しながら和やかに生活が送れるようにしている。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・家族様の思いに寄り添いながら、必要な物を購入して頂いたり家族様との絆も大切にしながら共に本人様を支えていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・ご家族様の方が、病院受診に付き添ったり食事に行ったり親戚、友人の面会（コロナウイルスの関係で中止中）を歓迎し継続的な交流ができるようはつきかけている。	家族とは1階ホールでの10分程度の面会や受診同行もあるが電話での交流が主であり、事業所から個々の近況報告を毎月送付し関係が途切れないように努めている。訪問看護や馴染みの訪問理美容・マッサージ師の来訪もある。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・お茶・食事・レクリエーションの時間には職員も間に入り入居者様同士が関わり合えるよう工夫し又、関係性が円滑になるような働きかけをしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・契約が終了しても要望に応じて家族様の相談に応じ支援（郵便物・連絡）に努め、きめ細かい連携を心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の関わりの中で利用者様の思いを受けとめ実践している。（コーヒーが飲みたい、欲しいものがある等）衣類など不足している時は、本人様の好みを聞いたりしながら購入している。</li> </ul>	<p>日常の会話で本人の思いを把握するように努めている。意思疎通が困難な場合は、アセスメントや入居前の利用事業所の情報を参考にしたり、日頃の関わりの中から本人の思いを職員で話し合い支援している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入所前アセスメントを取り、サービス開始時には、生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境・個性・価値観を把握し取り入れている。</li> </ul>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一日の過ごし方は、心身の状態・有する力、生活リズムなどを把握し、本人様の出来る事、楽しめる事を取り入れている。</li> </ul>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護計画は、ご家族様や主治医の意見、その他関わっている方々、本人様の心身の状態などを考慮し作成している。</li> </ul>	<p>事前に把握した本人や家族の希望等を基に職員で担当者会議を実施し、本人・家族・主治医・職員の意見やアイディアを基に、よりよく暮らせるよう介護計画を作成している。モニタリングを3ヶ月毎に実施し、見直しは6ヶ月毎及び状況変化等の必要時に行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ全員が情報を共有し、日々の個別記録を参照し、きづいたんがあればその都度話し合い介護計画に活かしている。</li> </ul>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族様に代わり必要な物を買いに行ったり、訪問マッサージ、訪問歯科、散髪等に取り組み個々の満足を高めるよう努力している。</li> </ul>		
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の病院等の支援を得ながら安全で豊かな暮らしを支援している。</li> </ul>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族様の了解を得、24時間体制の訪問診療で何でも相談できるようになっている。又、本人様が希望する主治医との関係を築いている。</li> </ul>	<p>契約時に本人・家族の希望するかかりつけ医を確認し支援している。協力医療機関による月2回の訪問診療と24時間医療連携体制及び週1回の訪問看護により、適切な医療及び健康管理が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価 外部評価	項目	自己評価	外部評価	
		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとられた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・訪問診療・看護の際に気づいた事を相談し適切な受診等につなげられている。		
32	○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・入院先の相談員の方などと連絡をこまめにとり情報を得ながらできるだけ早く退院ができるよう連携をとっている。		
33 12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・家族様、利用者様としっかりと話し合いを行いホームでできるとの説明をし方針を共有している。また、スタッフ等とも話し合い協力して支援できる体制作りを行っている。	重度化等の場合の対応について「重度化した場合における（看取り介護）指針」があり、利用開始時に説明し同意を得ている。状況変化時に主治医から説明を行い、家族の意向に沿って支援に取り組んでいる。主治医や医療機関と協力しながら看取り介護の事例がある。コロナ禍の中であるが、看取り期の家族の面会は行っている。	
34	○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急救手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・スタッフ全員が救急救命の研修に参加し、急変時に備えた対応を身に着けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・年に2回避難訓練を実施し、的確な避難誘導が行えるよう体制を整えている。また、地域の方々にも協力していただけるよう行事に参加し関係を築いていく。	年2回昼夜想定の避難訓練を実施している。コロナ感染予防の為、消防署は参加せず、住民への協力依頼も自粛し、職員のみで行った。今後、コロナ感染の状況を見ながら、運営推進会議を兼ねての訓練や住民への協力依頼を実施する予定である。非常用の備蓄は、水・乾パン・ご飯・缶詰・味噌汁・菓子などの1週間分の食料を備蓄している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者様の自尊心などを傷つけないように勉強会を行い全員で再確認している。またスタッフ間でもお互いが注意しあえるような関係性を築いている。</li> </ul>	<p>プライバシーや声掛けについての勉強会を行っている。排泄や入浴時のプライバシーに配慮した支援を行っている。車椅子・オムツ使用で立位困難な場合も本人の希望時はトイレでの排泄を支援するなど、本人の思いを尊重した対応をしている。申し送りは内容が利用者に分からないように配慮している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>常に利用者様の思いや希望の訴えがあれば傾聴しその思いを尊重できるよう支援している。</li> </ul>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>その方に合った生活リズムをベースに希望に沿った支援を行っている。</li> </ul>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎朝の整容を行い衣類も入居者様の着たい洋服を選んでいただき気持ちよく過ごせるよう支援している。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	・食事を楽しんでいただけるよう誕生日会や行事食などで入居者様の意見を取り入れ提供するようになっている。食事の下膳や片付けなどできる方には取り組んでいただいている。	主菜を外部委託し、個々に応じ刻み食等にして提供している。月1回、近隣の店からテイクアウトしたり、誕生日のケーキや好物、ホットプレートでの焼きそば等、食べる楽しみを工夫している。力量に応じて下膳や片付けを一緒に行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・食事、水分摂取等を記録にとり変化に応じて随時対応している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・その方に合ったケアを支援し口腔内の清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	・立位困難でオムツを使用している方も訴えがあればトイレに誘導し自尊心を傷つけないような対応をしている。	一人ひとりの排泄パターンを把握し、声掛けを行いながらトイレ誘導を行っている。立位困難な場合も本人からの希望があれば昼夜共トイレでの排泄を基本に支援している。排泄用品は個々に応じた適切な物を検討して使用しており、夜間のみポータブルトイレを使用する利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		<p>○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>便秘の際には医師に相談し指示に沿った対応と適度な運動により便秘の解消に努めている。</li> </ul>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまはずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心して楽しみながら入浴ができるようにその方に合った支援方法で行えている。入浴後は好みの服を着たり、気持ちの良い時間を過ごして頂いている。</li> </ul>	<p>週3回、午前中に入浴を行っている。入浴剤や音楽・好みのシャンプーを使用し楽しんでもらえるようにしている。個浴や2人介助等、個々に応じた支援をしている。汚染時は陰洗やシャワー浴を行い、入浴を嫌がる場合も無理強いせず、声掛けや対応を工夫している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>その時の状況や本人の訴えを尊重しながら休息を行う。日中の活動で夜間の眠りが促せるよう工夫している。</li> </ul>		
47		<p>○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>処方された薬の内容を理解すると共に職員同士のチェック体制や体調面の変化について随時検討できる環境である。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・個々で楽しめること、共有して楽しめることを理解し合って活動を行っている。また任せられる仕事等お願ひしている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外にかけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	・季節を五感で感じていただく為に個別や団体で直にあった場所や行きたいところへお連れしている。*現在はコロナ対応にて控えております。	コロナ禍の為に外出は自粛しているが、春には花見を実施し、秋は紅葉狩りも計画している。近隣の散歩や馴染みの店での買い物で気分転換を図っている。コロナの感染状況が落ち着いたら外出できるよう、年間計画を立てている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・個人で管理できる方、施設が管理している方様々であるがでできる限り社会性の維持を支援している。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	・日頃の様子を施設からの便りとして月1回発送しています。電話やお手紙のやり取りはその都度支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・その時期に合った飾りつけと一緒に居心地の良い雰囲気作りに努めている。また生き物を飼うことで自然との触れ合いを楽しんでもらう工夫をしている。	リビングは換気に配慮し、オゾン設置や空気清浄機・エアコンで適度な生活環境に調節している。温湿度の管理も行っている。毎月季節の作品を利用者と共に制作している。メダカを飼育し利用者が餌やりを行っている。窓際にソファを設置しくつろげるようしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いで過ごせるような居場所の工夫をしている	・1人での時間を楽しめるようソファーや一人掛けのイス、テーブル等配置して気分転換が図れるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・安心して過ごせるように使い慣れた品々を置いて家族の写真や思い出の品等が近くにあることで心地よく生活していただいている。	居室にはベッド・タンス・エアコンが備えてあり、本人はテレビや仏壇・寝具等を必要に応じて持ち込んだり、位牌・写真を身近に置いて安心して過ごせるような環境づくりをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・潜在能力を生かしつつ安心で安全な生活が出来るように環境整備に取り組んでいる。迷いや不安が生じたときにはその都度検討を行っている。		

## V アウトカム項目

			1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目 : 23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目 : 18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目 : 38)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られて いる。 (参考項目 : 36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

		1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目: 49)	2 利用者の2/3くらいが
		3 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
		1 ほぼ全ての利用者が
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目: 30, 31)	2 利用者の2/3くらいが
		3 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
		1 ほぼ全ての利用者が
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目: 28)	2 利用者の2/3くらいが
		3 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
		1 ほぼ全ての家族と
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目: 9, 10, 19)	2 家族の2/3くらいと
		3 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/>	4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)		1 大いに増えている
		<input type="radio"/>	2 少しづつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目 : 11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない